

# みなさんからの請願・陳情(委員会審査状況)

## 陳情第1号

年金2.5%の削減中止を求める  
陳情 (平成25年5月提出)

### (提出者)

宇都宮市宝木町2-988-1  
全日本年金者組合栃木県本部

執行委員長 松山 正

(陳情の趣旨) 平成25年10月からの年金2.5%削減を中止するよう国に意見書提出を求めるもの  
(民生常任委員会審査の内容・結果)

年金は、「物価スライド制」で物価の上がり下がりによって年金受給額が上下され、日本は、平成12年以降デフレにあり年金受給額は「特例措置」で減額が見送られてきたことや、法律が国会で成立していることなどの意見が出されました。採決においては、全会一致で不採択となりました。

## 陳情第2号

「教育費無償化」の前進をもとめる陳情 (平成25年5月提出)

### (提出者)

宇都宮市兵庫塚3-10-30  
全栃木教職員組合

執行委員長 篠原 章彦

(陳情の趣旨) 「高校無償化」の維持・拡充を進めること。また、高校生・大学生に対する「給付制奨学金」制度をつくるよう国に意見書提出を求めるもの  
(文教常任委員会審査の内容・結果)

本陳情については、公立高校授業料無償制及び高等学校等就学支援金制度における授業料

に対する国の公費負担の中で、学校教育費に含まれる経費について、すべて国庫負担金で賄うことが良いのか精査する必要があること。また、給付型奨学金については、高校を卒業しても就職することが困難な時代背景を鑑み、給付型奨学金について調査する必要があることから、今会期中に結論をとりまとめることが困難であるため継続審査となりました。

## 陳情第3号

「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる陳情 (平成25年5月提出)

### (提出者)

宇都宮市兵庫塚3-10-30  
全栃木教職員組合

執行委員長 篠原 章彦

(陳情の趣旨) 国の責任で、すべての小・中学校、高校で30人学級を実現すること。また、新たな教職員定数、改善計画をつくって計画的に教職員を増やすよう国に意見書提出を求めるもの  
(文教常任委員会審査の内容・結果)

本陳情については、本市では小学1、2年生及び中学生の学級定員を35人としており、小学3年生から6年生については、学級定員を40人としている。このことから、学級定員を30人とするには教室の数や教職員の人数など精査する必要性があることから、今会期中に結論をとりまとめることが困難であるため継続審査となりました。

## 請願・陳情はこんな方法で

- 請願(陳情)書は、議会事務局へ持参してください。
- 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願(陳情)者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
- 用紙のサイズはA4版でお願いいたします。
- 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

### 〈 請願(陳情)書の書式例 〉

《表紙》

〇〇〇に関する  
請願(陳情)

紹介議員名  
(陳情は不要)



《内容》

1. 請願(陳情)の趣旨
2. 請願(陳情)の理由  
平成〇年〇月〇日

請願(陳情)者  
住所  
氏名  
大田原市議会議長あて



## 永年在職議員の表彰

全国市議会議長会長より永年在職議員の表彰があり、第3回市議会定例会初日に表彰伝達式が行われました。

《15年表彰》

中川 雅之 議員

《10年表彰》

井上 泰弘 議員

《10年表彰》

鈴木 徳雄 議員

## 市議会ではインターネットによる生中継をしております

●アクセス方法 ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「大田原市議会」から「議会議中継」のページへお進みください。なお、本会議の中継は本庁舎及び各支所・出張所や各地区公民館のディスプレイ等においてもご覧いただけます。なお、本会議の録画映像も市ホームページにて配信しておりますのでぜひご覧ください。

●大田原市ホームページ <http://www.city.ohtawara.tochigi.jp/>

●お問い合わせ先 大田原市議会事務局 ☎23-8714